

土地収用裁決申請相談に関する準備調書

※ 相談時期の状況に応じて、下記項目のうち可能な範囲について記載すること

1 起業者名

2 事業内容

(1) 事業名

※ 正式名称を記載すること

(2) 事業認定（認可・承認）日等

※ 事業認可（承認）の場合は、事業期間も併せて記載

(3) 事業概要

（記載例）

〔事業の目的〕

〔全体概要〕

〇〇市〇〇丁目地内を起点とし・・・〇〇市〇〇地内を終点とする延長約〇メートルの区間について、幅員〇メートルの・・・主要幹線道路を建設する。

〔起 業 地〕

〇〇市〇〇丁目地内から〇〇市〇〇丁目地内までの延長約〇メートルの区間について幅員〇メートルの〇車線の道路を建設する。

〔事業期間〕

（全 体） 〇年〇月〇日～〇年〇月〇日

（起業地区間） 〇年〇月〇日～〇年〇月〇日

3 収用又は使用しようとする土地の区域等

土地の所在							
地番	地目		面積 (㎡)			土地所有者 氏名	土地に関する 関係人氏名 (権利の種類)
	公簿	現況	公簿	実測	収用 (使用)		
番							
備考	① 登記名義人 (存命・死亡 年 月 日) ② 境界の確定状況 ③ 占有者の有無等						

※実測平面図を添付

4 土地に対する損失の補償見積額

地番	収用	使用	残地	権利の種類 持分等	氏名
	単価 (円/㎡)	単価 (円/㎡)	単価 (円/㎡)		
	総額 (円)	総額 (円)	総額 (円)		
番					
番					
番					
備考	価格時点： 年 月 日 鑑定の有無：				

5 物件の概要 (該当する方を■にしてください)

☐物件なし / ☐物件あり (→☐建物なし / ☐建物あり)

(物件の種類及び数量, 物件所有者、調査の有無や補償金額の算定方法等)

※物件配置図を添付

6 明渡申立てに係る事項

氏 名	見 積 補 償 金 額	項 目 ・ 単 価 ・ 割 合 等
	〈例〉 ○ ○ 円	〈例〉 物件移転料 ○ ○ 円

7 交渉概要

(1) 交渉経過の概要

- ※1 交渉経過が複雑な場合等はこの欄に要点を記載した上、別途、詳細（日時、交渉相手、交渉内容等）を記載した書類を添付すること。
- ※2 任意交渉が十分に行われていない場合は、その理由等を記載すること。

(2) 裁決申請に至った経緯

- ※ 任意交渉の状況、事業完了年度等を入れて、経緯をまとめること。

(3) 争点

(記載例)

- ・ 補償金額の開きが大きい。 起業者提示額 ○○円、土地所有者要求額 ○○円
- ・ 相続関係で争いがある。
- ・ 土地の範囲が不明（隣地との境界について争いがある。）

8 今後の事業・申請スケジュール

(1) 土地・物件調書の作成時期

(2) 裁決申請及び明渡裁決申立の時期等

(3) 事業実施に係る期限

9 収用委員会事務局からの確認事項(土地所有者及び関係人に該当するものを■にしてください)

- ☐ 未成年者 ☐ 成年被後見人 ☐ 意思能力の欠如 ☐ 外国人又は外国居住者
☐ 境界争い ☐ 残地収用請求 ☐ 行方不明者 ☐ DV等による住民票取扱注意対象者

10 その他問題点、質問事項等

11 添付資料

○ 担当者名

担当部課名	
担当者 職・氏名 (㊦)	
連 絡 先	電 話 e-mail